



◆ 議案を読む会

5月25日(土)9:30~11:30
@コミュニティスペース くるり

◆ 6月議会予定

5月31日(金)~6月14日(金)
傍聴しよう！インターネット配信もあります。

◆ まちかどカフェ&6月議会報告会

岩崎さゆり市議から市政の報告を
7月6日(土)9:30~12:00
@おあしす ミーティングルーム4

イベント案内

なまずナイト

~なまずの産卵や・稚魚を見られるかも♡
4月29日(月・祝) 18:00~19:00
なまず田んぼ観察 @中央公民館 玄関前集合
5月12日(日)
17:15~18:00 ミニ講座 @中央公民館 302
18:00~19:00 なまず田んぼ観察
参加費:300円
主催 : 吉川でチャレンジし隊
問合せ: takayamisu7694@gmail.com

ぽっかぽかの集い

子どもの病気や障がいのことなど、親同士で情報交換し、共感・共有し合うことで心が温まるお話し会
4月20日(土) 13:00~14:30
@川藤自治会館(武輝神社前) 参加費:100円
主催 : ぽっかぽかの会
問合せ: sayur.ing.iwasaki@gmail.com

ポスティングボランティア募集中♪

一緒にいきいきレポートを配布して下さる方のご連絡をお待ちしています(^o^)/

●皆様からのご意見・ご感想

ご入会希望等お問合せはこちら！
MAIL: yoshikawa.shimin.net@gmail.com
FAX : 048-983-1835



ご寄付のご協力もお願い致します！
ゆうちょ銀行 038 普通 7744921

私たちの選挙運動

~1/28 吉川市議会議員選挙~

今年1月28日、吉川市議会議員選挙が行われました。よしかわ市民ネットワークは代理人の岩崎さゆりを擁立しました。

街かどで

選挙運動期間の1週間、ボランティアがローテーションで街頭宣伝を行い、岩崎さゆりは街かどで演説し、市民の皆さんに訴えかけました。足を止めて聞く人や声をかけてくれる人もいて、時には対話が生まれ、私たちもぐっと引き込まれました。



選挙事務所で

選挙事務所には次々と人が出入し、作業する人の傍らで、福祉や医療、農業のこと、防災のことなど、普段と少し違う話題にも熱が入ります。お洒落にキメた男性が「事務所のトイレ掃除をします」と用具一式を揃えて現れたときは、本当に驚きました。それぞれの人が、それぞれ語り、それぞれのやり方で選挙に加わります。たくさんの人と出会えることが選挙運動の醍醐味です。



投票率は 38.38%

岩崎さゆりは 1,355 人の方から票をいただき、当選することができました。

今回の投票率は 38.38 %でした。市議会議員は市民が納める税金の使い道を議会で決める立場にありますが、約6割の有権者が投票を棄権する現実は大変重いものです。市政を充実させるには市民の参加が不可欠です。市民の皆さんと協働の市政をつくっていくために、よしかわ市民ネットワークは今後一層力を尽くします。

●市民ネットワークの3つのルール

- ① 任期は最長3期 12年で交代
- ② 選挙はカンパとボランティア
- ③ 議員報酬はみんなの活動費

YouTube チャンネル始めました！
ぜひ登録してね！



HPはこちら→

yoshikawa-shimin-net.blogspot.com



よしかわ市民ネットワークは
岩崎さゆりを市議会に送っています



第40号 2024年4月発行

次世代へつなぐ農業を目指して

3月議会
岩崎さゆり 一般質問

市議会議員 岩崎さゆり 農業従事者が激減し、担い手不足や耕作放棄地問題の解決が差し迫った課題です。一方、農業に関心を持ち、新規就農を目指す人も確実に存在しています。

農業従事者の中には「子や親族ではなくても、やる気と熱意のある方がいれば、田畑や機械を貸したり譲ったりしたい」、「自分が長年培ってきた技術を教えたい」と思っている方もいらっしゃいます。

新規就農希望者を的確に受け止め、市での営農へとつなげる取り組みについて、現状と課題について質問しました。

就農希望者の要望を
しっかりと受け止め、つなげる

令和5年度の新規就農相談件数は2月末までで6件でした。市の新規就農相談の窓口では、相談カードに沿って丁寧に聞き取り、制度を紹介し、農地の斡旋や栽培技術指導の為に、農業委員や農業者等に関わってもらい対応をしています。

昨年、市に新規就農相談に来られた方のお二人は「何か所か自治体を回り新規就農相談をした中で、吉川市の対応がとてもよくて本当に嬉しかったです」、「他の所で有機農業の相談をしても、ほとんど分かってもらえなかったです」と話していました。市内での新規就農に向けて、研修生として準備中です。

新規就農に関する問い合わせについて

国は「みどりの食料システム戦略」の中で、2050年までに有機農業を耕地面積の25%(100万ha)に拡大する目標を掲げており、有機農業に関する新規就農相談が今後も増えてくると予想されます。

問い合わせをしっかりと受け止めることができるよう、有機農業に関する職員の研修や情報収集を求めました。

直近3年間で、新規就農者が市内で定着した事例が2件。これからも都市近郊という強みを生かし、吉川での営農へと繋げる取り組みが必要です。



買って支える地産地消の推進

市の調査で、吉川産農産物を購入する割合は、令和5年度は6割を超え、年々上昇傾向となっています。一方、購入しない理由は「産地にこだわりがない」「どこに売っているか分からない」が大半であることが分かりました。

地産地消は、生産者と消費者の距離が近いので、生産者は地域の消費者ニーズを的確にとらえた効率的な生産を行うことができます。また、消費者にとっては、鮮度がよく栄養価も高い農産物を購入できるというメリットがあり、地域への親しみにもつながります。吉川市農産物の魅力発信、農業を守る地産地消の推進を求めました。



さゆりの毎日コツコツと

深くて広い母娘の愛の物語に感動!

岩崎さゆりの連絡先
070-1187-3828
sayur.ing.iwasaki@gmail.com

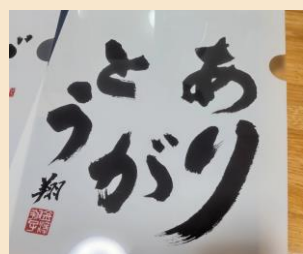
映画「ともに生きる 書家 金澤翔子」

先月、吉川市民交流センターおあしすで、書家 金澤翔子さんと、母・泰子さんのドキュメンタリー映画「共に生きる」が上映されました。

ダウン症の翔子ちゃんは、母・泰子さんと二人三脚で天賦の才を開花させました。翔子ちゃんが、小学校の普通学級に通う事ができなくなり、母・泰子さんは、この先どうしていいか思い悩みます。母娘二人だけで過ごす日々を「書」に向き合う事で乗り越えようと、娘に「写経」の指導を始めます。母の苦悩を受け止め、翔子ちゃんは母・泰子さんへ精一杯の思いやりの心を「書」に表しました。その深い絆と愛に涙が止まりませんでした。

翔子ちゃんの話は、私が以前一緒に活動をしていたダンス仲間の ASAHI 君(映画にも出演していました)とのご縁で知っていましたが、映画を見るのは初めてでした。二人の温かい最高の笑顔に心洗われた時間となりました。

吉川市「共に生きる 書家 金澤翔子」上映実行委員会の皆様、ありがとうございました。



翔子「書」クリアファイル



岩崎さゆりの活動記録



翔子ちゃんパネルの前で



よしかわ市民ネットワーク会員 M 吉川で農と出会う ①

はじめの一步

吉川に越して15年ほどになる。1年目の夏の蒸し暑い日、自転車で走って行くと突然爽やかなひんやりした空気につつまれた。車の行きかう通りから土の農道に入った時のことだ。田んぼから涼しい風が生まれてくる。両側には青々と波打つ田んぼがどこまでも広がっていた。

吉川では、田んぼの景色を愛する人が多い。私もこの田んぼがいつまでもずっと続きますようにと願う。一方、そのために何もできない自分に後ろめたさも感じていた。



幸いなことに、転機が訪れた。よしかわ市民ネットワークの代理人の岩崎さゆりさんは、農家の生まれで自身も農業の経験がある。次世代につなぐ農業の実現に取り組もうと気負いなく言う。

一昨年に始まった「よしかわオーガニックの会」という有機農業関係の会に参加した。この日は、吉川で新規就農をめざす若い方たちが熱心に次々とつっこんだ質問をし、ベテランの方たちがゆったりとはっきりと説明を行っていた。農業関係でない方の参加も多かった。

会の後「作る人だけでなく、応援する人や理解して買い支える人も大切でしょう。援農など参加する方法もいろいろありますよ」と声をかけられ扉が開いたような気がした。

農業は食糧安全保障のかなめであり、環境保全にも大きな役割を果たす。遠くから憧れたり心配するだけでなく、まず知って、共に考え小さなことでも参加することができたら、本当にうれしいと思う。(m)

傍聴席より

3月議会は、次年度の当初予算が審議される。議会初日(2/26)に市長から施政方針がしめされる。会派ごとの代表質問(2/28)、委員会での審議(3/6~3/11)を経て、本会議での討論・採決(3/14)となる。今回は初日と代表質問と最終日の一般質問を傍聴した。細かいやり取りが聞ける委員会も傍聴すると興味深い。

さて、予算の審議であるが、一般会計の他、4つの特別会計と3つの公営企業会計がある。すべて合わせると492億円を超える。資料を読むだけでも大変だ。それを18日間で審議するのである。議決された予算は「広報よしかわ4月号」で見ることが出来る。(TM)



市役所3階議場前で

移動販売が便利です ～笑顔が花咲く地域のつながり～

1月10日から社会福祉協議会との包括連携協定により民間業者による移動販売がスタートしました。また、2月10日から市と覚書を交わした別の民間業者による移動販売がスタートしています。「移動販売が来て助かる」「買い物ができる楽しい」「ここに来るとご近所さんとおしゃべりできて嬉しい」という声が届いているようです。

うえたん号 ウェルシア薬局が運行。集会所・公民館など49拠点を月～金のうち週1回訪問。販売場所・時間については、社会福祉協議会にお問い合わせください。



うえたん号

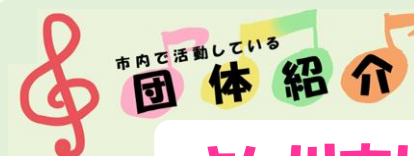
カスミ スーパーカスミが運行。集会所・公民館など43拠点を月～金のうち週1回訪問。販売場所・時間については、カスミレイクタウン店にお問い合わせください。



カスミ ニツ沼集会所で

とくし丸 コモディイダの商品を販売。火金：中曽根・栄町方面、水土：三輪野江・加藤方面、木：川藤・平沼方面で、主に個人のお宅を訪問。

上記3台の巡回式スーパーの他、JA さいかつ、木の下商店が出張販売をしています。(TM)



よし川市川藤緑花会

吉川駅の方から「さくら通り」を2.5km北に進み「前新田橋」交差点まで来ると遊歩道があり、見事な桜のトンネルを歩くことが出来ます。さらに北に300mほど進むと、枝に吊るされた提灯が並び「かちばし」交差点まで続きます。

その間の桜並木を管理しているのが『よし川市川藤緑花会』の皆さんです。今年も3月10日に提灯付けをしたそうです。

昭和55年(1980年)頃に桜を植えたのが始まりで、現在会長の澤田さんは4代目。「日本さくらの会」の「平成29年度さくら功労者名簿」にも記載されています。多い時は50人以上いた会員は、今年度は29人とのことでした。

大変だったのはヤゴ切り(不要な枝を落とすこと)で、草刈、清掃、消毒など手入れをしながら愛情を持って育ててきたそうです。会費を集め、市からの補助も受けて、提灯には灯もともしてきました。しかし、高齢化で高い所に電線を張れなくなり、さらに電気代の高騰もあり、提灯の点灯を今年は断念することになったそうです。

とは言え、連なる提灯の短冊には手書きで川柳が記され、その内容も夫婦の機微から世界平和まで様々で、一つ一つ読みながら探索するのはとても楽しいです。県外からもお花見に来られるそうです。吉川市に住んで、この桜並木を見ないのはもったいないですね!(MI)

